

神戸女子大学BBS部 第34回こうべユース賞受賞

2月28日(土)神戸市須磨区の須磨パティオにおいて、第34回神戸ユース賞(注1)の表彰式が行われ、昨年に引き続き今回は神戸女子大学のBBS部が社会部門で表彰されました。

BBS(注2)とは、少年少女の更生保護事業を行う青年ボランティア団体です。BBS部は兵庫県BBS連盟の一団体として、少年少女と心の交流を行い、彼らが健やかに成長していくのを手伝うボランティアを行っています。

独自の活動も企画し、平成26年度は、保護観察下の少年少女も一緒に参加できるバドミントン大会や六甲山牧場でのレクリエーションを企画実行しました。また、毎年法務省が主唱する「社会を明るくする運動」の一環として、地域の保護司会、更生保護女性会、須磨警察署と協力し、街頭での犯罪非行防止活動も行っています。

部員たちは、ボランティア活動をととして学外の世代を越えた人々とも交流する機会があり、社会人としてのマナーやルールも身につきました。今後も犯罪や非行のない社会の実現に向けて、学業と並行して積極的に活動する決意をしています。



記念の楯を持つBBS部員

(注1)こうべユース賞とは、社会・文化・スポーツの各分野で活躍し、業績顕著及び奨励に値する活動を行った青少年を表彰するもの。

(注2)BBSとはBig Brothers and Sisters Movementの略称。更生保護の諸活動にボランティアとして参加する人々や団体と力を合わせて、法務省の行う更生保護事業に協力する。さまざまな問題を抱える少年少女と、兄や姉のような身近な存在として接しながら、少年少女が自分自身で問題を解決したり、健全に成長していくのを支援するとともに、犯罪や非行のない地域社会の実現を目指す青年ボランティア団体。

ローターアクトクラブ ども病院での活動

3月9日(月)神戸女子大学ローターアクトクラブの学生9名と滝川高等学校インターアクトクラブの生徒2名が兵庫県立ども病院を訪れ、寸劇とバルーンアートのプレゼントで子どもたちを励ました。

この催しは、ローターアクトクラブのスポンサーである神戸須磨ロータリークラブが、2014-2015年度地区補助金による奉仕プロジェクト補助金での支援の下に企画実行したものです。

学生たちは、バルーンアートの作り方を習って、動物、花、おもちゃのプレゼントをたくさん作りました。劇は、学生が“アクトレンジャー”と名付けたヒーローに扮し、滝川高校の生徒が演ずる“バイ菌マン”を子どもたちの応援でやっつけるといったダンスも入ったオリジナルのストーリーです。

滝川高校の生徒と協力して、子どもたちに分かりやすい劇になるように身振り手振りを工夫して当日を迎えました。

会場は、子どもたち、保護者や看護師の方々で満員となりました。皆さんは、劇が始まると真剣になって見入り、“バイ菌マン”に“アクトレンジャー”が負けそうになると熱い声援があちらこちらからあがりました。子どもたちの応援で“バイ菌マン”を退け、お礼に学生たちからバルーンアートをプレゼントして劇は終わりました。

色とりどりのバルーンアートは予想以上に人気があり、劇の終了後にもリクエストに応えその場で作って手渡しました。

学生たちは、励ますつもりで病院を訪れたのですが、子どもたちの笑顔に逆に励まされ、今後ともローターアクトクラブの国際交流や地域貢献活動に一層励む決意を新たにしました。



最終の打ち合わせをする学生



“アクトレンジャー”が子どもたちの応援で“バイ菌マン”を追いつめました



神戸須磨ロータリークラブの皆様も一緒に記念撮影

第10回 英語演劇鑑賞の夕べ ウィリアム・シェイクスピア作「ヴェニス商人」公演



5月19日(火)神戸女子大学須磨キャンパス体育文化ホールにおいて、インターナショナルシアターカンパニー・ロンドン(International Theatre Company London 以下ITCL)によるウィリアム・シェイクスピア作「ヴェニス商人」が上演されました。

ITCLの公演は、地域連携活動の一環として毎年開催し、今回は10回目となる記念の公演です。シェイクスピアの代表的な喜劇を約650名の観客が鑑賞しました。

ヴェニスの商人アントニオは、高利貸シヤイロックからの借金を返済できなくなり、窮地に追い込まれますが、男装して裁判官となった親友の妻ポーシャの機転に救われるというストーリーです。少人数の出演者が複数の役を演じ、卓越した演技に、歌と踊りもまじえた舞台は、終始観客を魅了しました。

公演に当たっては、文学部英語英米文学科の学生が中心になり、受付、会場案内、アナウンス、インターバルでの飲み物・スナック販売などの運営をしています。

上演前には、英語英米文学科を代表し4年生の藤田 美紅さんが日本語と英語で挨拶を行いました。お客様には外国人の方も多く、オープニングを飾るものでもあり緊張を伴いましたが、発音、イントネーションの練習を数週間前から毎日行い、見事に大役を果たしました。

この行事に参加した学生はITCLの俳優やスタッフの方と交流する機会もあり、生きた英語を学ぶこともできました。シェイクスピアの作品への興味や理解が深まり、幅広い教養を身につける一助ともなっています。



上演前に学生がキャンパスを案内



受付の様子



オープニングの挨拶をする藤田美紅さん

「未来医XPO'15」に展示参加

3月29日(日)「第29回日本医学会総会2015関西 一般公開展示『未来医XPO'15』ポートアイランドサイエンスツアー アカデミーツアー」にポーアイ4大学の連携行事の一環として、ポートアイランドキャンパスの神戸女子大学健康福祉学部と看護学部、神戸女子短期大学が展示参加しました。ポートアイランド内の4大学が連携し、教育機関独自の視点で健康・医療に関する展示を行いました。



ポーアイ4大学連携事業「第5回 慢性腎臓病 市民公開講座」

ポーアイ4大学(注1)による連携事業の一環として、成人の8人に1人が患者といわれる新たな国民病、慢性腎臓病(CKD)の治療と食事療法についての講演会、調理実習を神戸女子短期大学・4大学連携推進センターの主催で開催しました。講演会は116名、調理実習には30名の市民の皆さんが参加されました。リピーターになる方も多い公開講座です。

講演会

神戸女子短期大学からは、食物栄養学科の今本 美幸准教授が講演を行い、V-netクラブ(注2)の学生11名が受付、会場案内、資料や試食品の配布を行いました。

今本准教授は、食事や生活習慣を改善することで腎臓病の進行を最小限に止めることができると具体的な事例を挙げて説明し、次の講師である小野 純夫氏は、通院での透析治療にはない在宅透析のメリットを語られました。

笠原 正登博士は、腎臓病の病態や最先端の治療方法を多くの写真やデータを使って専門的な見解を分かりやすく説明されました。そして、一人ひとりが健康管理を行うことは、社会全体に大きな利益をもたらす、立派な社会貢

献にもつながると述べられました。

腎臓病の治療には、強い精神力と根気が必要ですが、参加の皆さんは、元ボクシング世界チャンピオン井岡 弘樹氏の「己に勝つ」応援メッセージを受け取り、腎臓病へ立ち向かう勇気をもって会場を後にされました。



講演の様子



講演会のスタッフと学生ボランティア

日程:平成27年2月7日(土)

講演1「腎臓病を続けるために」

講師:神戸女子短期大学食物栄養学科 管理栄養士 今本 美幸准教授

講演2「在宅透析で透析ライフを楽しむ」

講師:患者協力 小野 純夫氏

講演3 応援メッセージ「己に勝つ」

講師:西日本ボクシング協会会長、初代WBC世界ミニマム級世界チャンピオン、元WBA世界ライトフライ級チャンピオン 井岡 弘樹氏

講演4「腎臓病に立ち向かう勇気」

座長:武庫川女子大学 薬学部教授 森山 賢治先生

講師:京都大学医学部附属病院臨床研究総合センター EBM推進部特定准教授、先端医療センター腎臓・血液浄化領域チームディレクター 医学博士 笠原 正登先生

調理実習

管理栄養士内田 雅子氏と三浦 由美子氏による慢性腎臓病の食事療法のミニ講義と調理実習を行いました。この日もV-netクラブの学生8名が調理のアシスタントを務めました。

今回の献立はメインディッシュに魚を使ったフランス料理です。減塩や低たんぱく食が治療に有効であることから、ニンニク、きのこ、野菜類、魚介類の素材の旨みやコクを生かし、マスタードソースの酸味と辛みをきかすことで減塩でもおいしく食べられる調理のポイントを学んでいただきました。



調理実習の様子



調理実習のスタッフ

日 程:平成27年2月14日(土)

テーマ:気軽に簡単♪低たんぱくフレンチ
～CKDに負けない食事作りのコツ～

ミニ講義 講師:神戸女子短期大学非常勤講師
先端医療センター病院 管理栄養士
内田 雅子氏

調理実習 講師:先端医療センター病院 管理栄養士
三浦 由美子氏

会 場:神戸女子短期大学 ポートアイランドキャンパス

メニュー

- ◆魚介と野菜のカクテル
- ◆ポタージュスープ
- ◆ガーリックライス
- ◆白身魚のポワレ マスタードソース
- ◆プラマンジェベリーソース



(注1)ポーアイ4大学とは、神戸学院大学・神戸女子大学・兵庫医療大学・神戸女子短期大学をいう。

(注2)V-netとは、阪神・淡路大震災をきっかけに発足した栄養士・管理栄養士養成施設で構成されたネットワーク。神戸女子短期大学では学内のクラブとしても活動している。